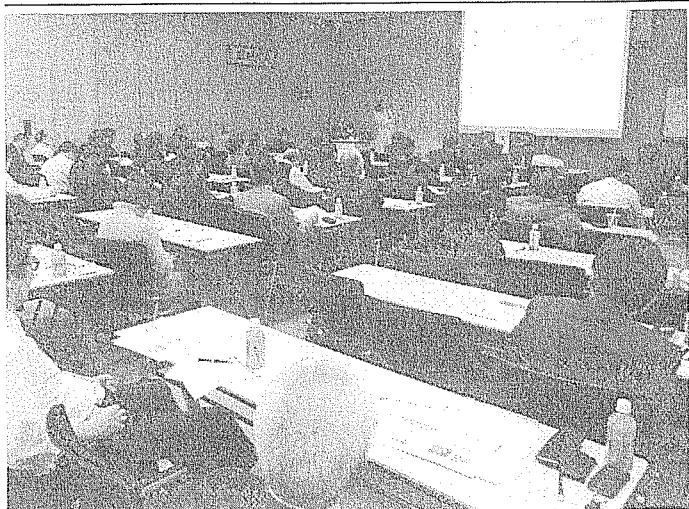


健診受診率上げよう

東ト協福利厚生対策研修会

【東京】東ト協労務
厚生委員会および福利
厚生事業検討小委員会
は18日、「福利厚生対
策事業研修会」を開催。
両委員会の委員長を務
める東ト協の水野功副
会長は、宮城交通のバ
ス事故を受け、「健康
診断をいま一度見直す
必要がある。何より健
康診断の受診率をもっ
と上げなければいけな
い」と述べ、受診率アッ
プのために検討を重ね
ていると話した。

ファイナンシャルプ
ランナーでFPユニオ
ンLaboの宮越肇氏
が「ライフプラン、早
期の安心・安全の確立
を保障の見直し、上
手なお金の貯め方な
ど、基本的な考え」



と題し講演。さらに、
NPO法人ヘルスケア
ネットワークの作本貞
子副理事長が「トラッ
ク事業者における健康
起因事故防止対策」ド
ライバーの健康が社会
を変え、物流を支える
」をテーマにSAS
(睡眠時無呼吸症候群)
の説明と対策について
説明した。定期健康診
断の活用、飲み薬と
運転業務との関わり、
ポスターに「見ました
サインを入れるなど、
簡単な社内教育の仕方
も紹介。(小澤 裕